

令和3年3月18日

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 高齢心臓外科手術患者における術前 SPPB と退院時 ADL との関連

研究機関 市立札幌病院 リハビリテーション科

研究責任者 診療科名/実施責任者名 リハビリテーション科/杉浦宏和

研究の目的

心臓外科手術患者さんにおける、SPPB という身体機能評価バッテリー得点と退院時日常生活活動(ADL)能力との関連を明らかにすることです。

研究の方法

1 対象となる患者さん

心疾患患者さんで、平成28年11月1日から令和3年2月28日の間に心臓外科手術を受けられた方。

2 利用するカルテ情報

診断名、併存疾患、年齢、性別、術前 SPPB (身体機能評価)、手術情報 (術式、手術時間、麻酔時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、術中総バランス、出血量)、検査所見 (血液検査、心エコー検査、呼吸機能検査)、ADL 評価、リハビリテーション経過 (座位開始日、立位開始日、歩行開始日、100m 歩行実施日、歩行自立日)、術後経過 (術後合併症発生率、術後在院日数)。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目

市立札幌病院リハビリテーション科